

JATM TOUR MANUAL

ウランバートルと郊外



株式会社ジャパン・エア・トラベル・マーケティング
Japan Air Travel Marketing Co., Ltd



ウランバートル

なだらかな起伏がひろがる草原のなかにモンゴルの首都ウランバートルはあります。標高約1,300mに位置し、真夏でも過ごしやすい気候のこの都市は、近年、経済発展が進んでいます。多くのビル群が建ち並ぶなか、チベット仏教寺院やゲルも点在する都市空間はとても魅力的。一步、街を出ればそこは大草原。発展の街ウランバートルとその郊外を満喫ください。



ホテル最新情報 ↑

ウランバートルのおすすめホテル

フラワーホテル ★★★★★

グループ FIT

モンゴル初の日系ホテル。客室数は180室。部屋やベッド幅が広く、大浴場やマッサージもあり、旅の疲れを癒せるホテルとして人気。日本語を話すスタッフがいて日本人には特に安心。日本料理やヨーロッパ料理、インド料理などのレストランの他、フロント近くにはカフェや深夜まで営業のバー、お土産屋もある。



バヤンゴルホテル ★★★★★

グループ FIT

スーパークラスの老舗ホテル。ウランバートル市内中心スファートル広場から徒歩で5～6分に位置。客室数は約200室。ホテルの構造が特徴的で、南側にあるA棟、北側にあるB棟の間に体育館のような巨大レストランがある。近くには劇場や博物館、ショッピングモールもあり便利。



ザ グランドヒルホテル

★★★★★

グループ FIT

市内中心地へアクセスしやすく、観光スポットのひとつツガンダン寺へは徒歩15分程度のところに位置する。部屋数は200室弱。SPAや会議室を有す。16階にあるレストランからの眺望は必見。



ブルースカイホテル&タワー

★★★★★

FIT

2012年オープン的高级ホテル。道路を挟んですぐ反対側にスファートル広場があり、美術館や各博物館へのアクセスも抜群。レストラン、会議室、ビジネスセンター、フィットネスクラブ、サウナ有り。



ラマダ ウランバートルシティセンター

★★★★★

FIT

スーパーマーケットやレストラン・カフェ等が入るショッピングセンターが併設されたホテル。部屋数は約130室。スファートル広場から車で約10分、メインストリートである平和大通り沿いに面している。



シャングリ・ラ ウランバートル

★★★★★

FIT

スファートル広場から徒歩約10分のところに位置する高級ホテル。

東横INNウランバートル

★★★

FIT

日本国内の東横INNとほぼ同じ客室やサービスなので安心。

ナラントール市場

モンゴル国内最大の露天市場。日用品から衣類・装飾品・生活用品から遊牧民の移動式住居「ゲル」のパーツ、馬具、工具などモンゴルの日常生活に必要なものは全て調達できる。

写真提供：中村正人様



スーパーマーケット・ショッピングモール・デパート

ウランバートル市内にはたくさんのスーパーマーケットやショッピングモールがオープンしており、モンゴル製品から輸入品まで豊富。1921年から約100年続く、イフデルグール(国立デパート)の6階には、モンゴルの伝統工芸品などお土産がたくさん！日本よりも物価が安いので、是非、買い物も楽しみください！



買い物

かわいいものがいっぱいのお土産



ウールの靴下



フェルトスリッパ



カシミヤのマフラー



カザフ族の刺繍



フェルトのぬいぐるみ



カシミヤのスカーフ



Golden Gobiのチョコレート



シベリー化粧品



モンゴル岩塩

仏教と宗教美術



ザナバザル美術館

1966年にオープンした美術館。町の中心にあり、アクセスが良い。17世紀末から18世紀初頭にかけてモンゴルで活躍した政治家にして点生活仏、そして“東洋のミケランジェロ”と呼ばれた天才仏師ザナバザルが制作した仏像や、“モンゴルのプリューゲル”と称されるシャラブが遊牧民の生活を描いた「モンゴルの一日」「馬乳酒の祭り」などが展示されている。

写真提供:中村正人様



チョイジンラマ寺院博物館

社会主義政権下でツァム(仮面舞踏)が最後に行われた寺院でもあり、多くの仮面が展示されている。ツァムは民主化以降の1993年に復活しており、現在のチョイジンラマ寺院は宗教活動は行われておらずツァムに関する博物館として運営されている。



ボグド・ハーン宮殿博物館

モンゴル帝国最後の皇帝ボグド・ハーンの宮殿。モンゴル仏教界の最高位であると同時に国家元首でもいたため、博物館内には、モンゴル仏教の歴史と20世紀当時の政治や外交を学べる展示物や曼陀羅や仏教美術も数多く展示されている。



ガンダン寺

モンゴル・チベット仏教ゲルク派の総本山で600年以上の歴史を持つ。観音堂に鎮座する高さ26.5mもある開眼観音像は、盲目となったボグド・ハーンの為に建立。宗教弾圧により国外へ持ち出されたが、民主化後に地元民の寄付により再建。目の治癒を願、多くの参拝者が訪れる。

ダシチョイリン寺

地元の人々に親しまれているゲルの形をした寺院。敷地内には黄色や紅色といったラマ僧の法衣を思わせる色使いの大小3つのゲルがある。ソ連の影響が大きかった時代には、サーカス場、サーカス演劇の学校として利用されていた歴史を持つ。

音楽と芸術



国立オペラ・バレエ劇場

ロシア文化の影響を受けているモンゴルでは、オペラ・バレエもメジャーな文化の一つ。日本人抑留者が携わった建築物の内の一つ。



国立ドラマ劇場

1931年にクラシック芸術振興を目的として国際中央劇場として設立。1960年に現在の国立ドラマ劇場が建築された。



トウメン・エフ民族アンサンブル

伝統楽器の馬頭琴などの演奏、ホミー(喉歌)、オルティンドーなどの民族音楽、曲芸などを披露する伝統芸能グループ。国立ドラマ劇場などで公演。



モンゴル国立近代美術館

1921年のモンゴル人民共和国成立以降、各世代の才能ある芸術家たちが制作した絵画、彫刻、彫刻、刺繍、手工芸品など4,000点以上の芸術作品を所蔵。

自然・歴史



チングスハーン博物館

自然史博物館があった場所に、チングスハーン生誕860年を記念して22年秋にオープンした博物館。9つのホールに古代遊牧民族から現代までの1200点ほどの展示があり見ごたえがある！



モンゴル恐竜中央博物館

モンゴルは恐竜の化石発掘で世界的に有名。7,000万年以上前の恐竜の化石が数多く展示。最大の目玉は紫外線に照らされた高さ4mのタルボサウルスタパール(T-LEXのいここ)。



モンゴル国立民族歴史博物館

原始石器時代から今日に至る歴史の変遷を特徴づける展示物が並べられ、モンゴルを代表する博物館の一つ。モンゴルの伝統的な生活様式も垣間見られる。



ウランバートル市博物館

約100年の歴史的建築物を利用した、ウランバートル市の歴史を語る博物館。規模は小さいが、仏教と町の建設の関わりや発展の過程がまとまっている。歴史の常設展の他、臨時展も開催。

日本との歴史を知る



スフバートル広場(チングスハーン広場)

国の中心となる広場。広場の中心には革命家、騎乗のスフバートル像が立つ。ソ連軍に連行された日本人抑留者のうち1万数千人がモンゴルに移送され、広場周りにある、政府庁舎や国立オペラ劇場、市役所など、数々の建設に携わったと記録されている。



ダンバルジャー寺院近くの日本人慰霊碑

過酷な労働を課せられた抑留者は最終的に全体の1割以上がモンゴルで息絶えた。遺骨収集が終わった地に慰霊碑と霊堂が立てられ、モンゴル人が管理している。



ノゴーン・ノールの桜博物館

日本人抑留者が石切り場として労働していた場所。当時の様子を伝える写真や建築物のレンガ等を展示。国交50周年を迎えた2022年の8月4日に、地元民がゲル2つ内に展示を始めた私設博物館。



ウランバートルからの鉄道旅

モンゴル縦貫鉄道の建設は1947年に開始。ウランウデ、北京への国際列車が1959年までに開通。2000年代に入り日本のODAによる路線の開発が続く。草原の中を行く地方都市への鉄道旅もお勧め♪



【モンゴルノーマディックキャンプ】 —大草原と遊牧民文化を満喫！—



おすすめ
体験スポット

1 遊牧民がお出迎え🐾



2 乗馬体験🐾



4 遊牧民の生活を体験！



3 ゲルでの歓待！



Mongol Nomadic Camp



モンゴルノーマディックキャンプにはゲルも併設。宿泊はもちろん、食事とセットにした日帰りプランもおススメ！

モンゴルの祭ナーダムも随時開催。各プログラムがあり事前予約が必要。当社までお問い合わせ下さい。

ホスタイ国立公園

ウランバートル南西に約110km(車で約2時間強)、草原と小高い山々が連なる一帯にホスタイ国立公園(総面積約5万ha)が広がる。野生馬「タビ」の保護区として知られている。タビのほかにも、アカシカやノロジカ、ハイロオオカミなども棲息しており、その多くは絶滅危惧種に指定されている。ホスタイゲルキャンプを拠点に、野生馬「タビ」を見学するプランもある。またゲルキャンプでは野生馬の動画や写真展示が見学可能。



チンギスハーン像テーマパーク

ウランバートルより東へ車で約1時間、トゥブ県エルデネソムのチョンジンボルドクの丘の上にそびえたつチンギスハーン騎馬像。地上40mの高さを誇る騎馬像が建てられた場所は、モンゴル帝国を築いたモンゴル民族の英雄チンギスハーンが夏を過ごしていた草原の丘。最大の目玉は地上32mのところにある展望台。振り向けば、ドーンと偉大なチンギスハーンの顔！地下にはゲル展示コーナーやモンゴル高原で発掘された考古学的埋蔵物の展示コーナーなどもある。



13世紀村

ウランバートルから東へ約100km、エルデネ村にはチンギス・ハーンが生きた13世紀当時の生活を再現した屋外博物館がある。文化村、シャーマンの村、狩猟の村、遊牧民の村、ハーンの村 等に分かれており、それぞれいろいろな体験や見学ができる。

- ◆文化村:13世紀の文字、文明を再現。モンゴル縦文字の記載体験
- ◆シャーマンの村:服や楽器を見学
- ◆狩猟村:狩りに使う道具を見学
- ◆遊牧民の村:ラクダ・馬に乗る体験、遊牧民の生活スタイル見学(乳製品試食付)
- ◆ハーン村:モンゴル衣装の着付け体験、昼食は伝統料理を堪能

